

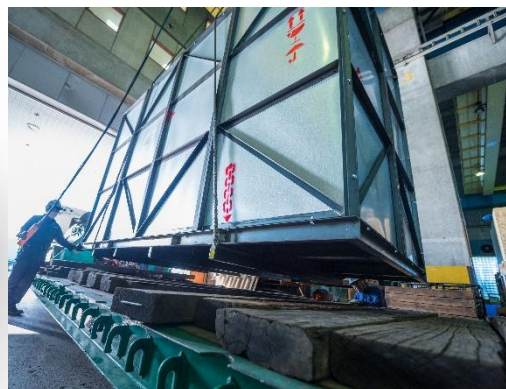
2022年3月期第2四半期 決算説明会

地球をつつむ思いやり
ロジスティクスパートナー サンリツ

株式会社サンリツ
2021年12月8日

東証1部

【証券コード：9366】



本日のご説明内容

1. 2022年3月期第2四半期決算概要
：前期比増収・増益
2. 2022年3月期 業績予想：上方修正・増配
3. 2022年3月期～2023年3月期
中期経営計画進捗状況
4. Appendix
 - ・ 2022年3月期第2四半期 連結貸借対照表
 - ・ 2022年3月期第2四半期
連結キャッシュフロー計算書
 - ・ 外部環境

- 1. 2022年3月期第2四半期決算概要** P 3
2. 2022年3月期 業績予想 P 8
3. 中期経営計画の進捗状況 P13
4. Appendix P23

1-1. 2022年3月期第2四半期 決算概要

・ 増収増益／工作機械復調、半導体製造装置及び小型精密機器増加

(単位：百万円)

	2021.3期 2Q	2022.3期 2Q	前期比 増減率	2022.3期 2Q予想	予想比 増減率
売上高	7,062	8,737	23.7%	8,000	9.2%
売上原価 (売上原価率)	5,595 (79.2%)	6,793 (77.8%)	21.4%	—	—
売上総利益 (売上総利益率)	1,466 (20.8%)	1,944 (22.2%)	32.5%	—	—
販管費 (販管費率)	1,261 (17.9%)	1,319 (15.1%)	4.6%	—	—
営業利益 (営業利益率)	205 (2.9%)	624 (7.1%)	203.4%	400 (5.0%)	56.2%
経常利益 (経常利益率)	169 (2.4%)	672 (7.7%)	297.0%	380 (4.8%)	77.1%
親会社株主に 帰属する当期純利益 (当期純利益率)	170 (2.4%)	480 (5.5%)	182.1%	240 (3.0%)	100.4%
1株当たり 当期純利益(円)	30.53	85.86	181.2%	42.93	—

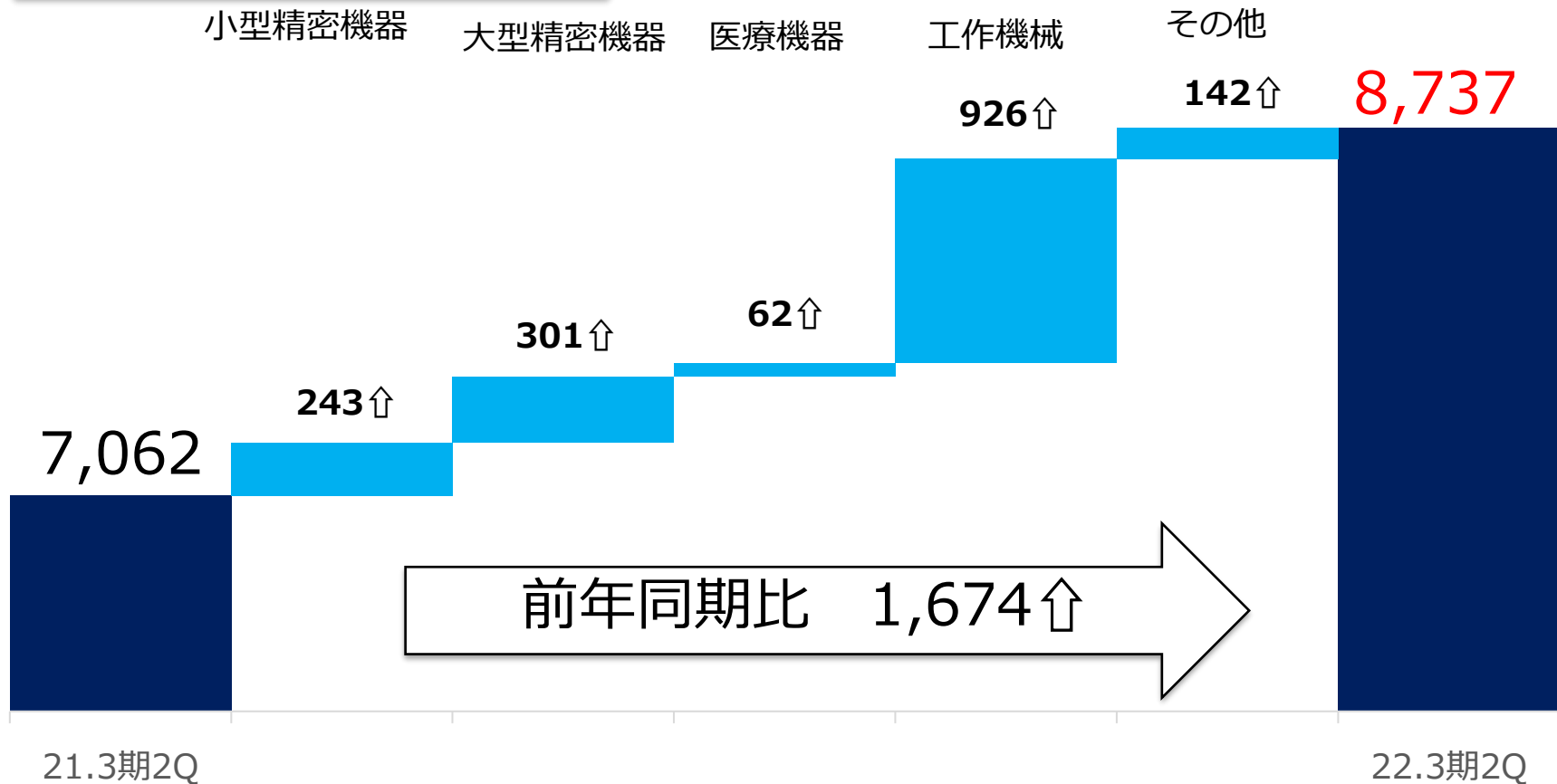
1-2. 2022年3月期第2四半期

取扱製品群別 決算概要

- ・ 前年大幅に取扱いが減少していた工作機械の復調
- ・ 半導体製造装置を含む大型精密機器も取扱いが増加

(単位：百万円)

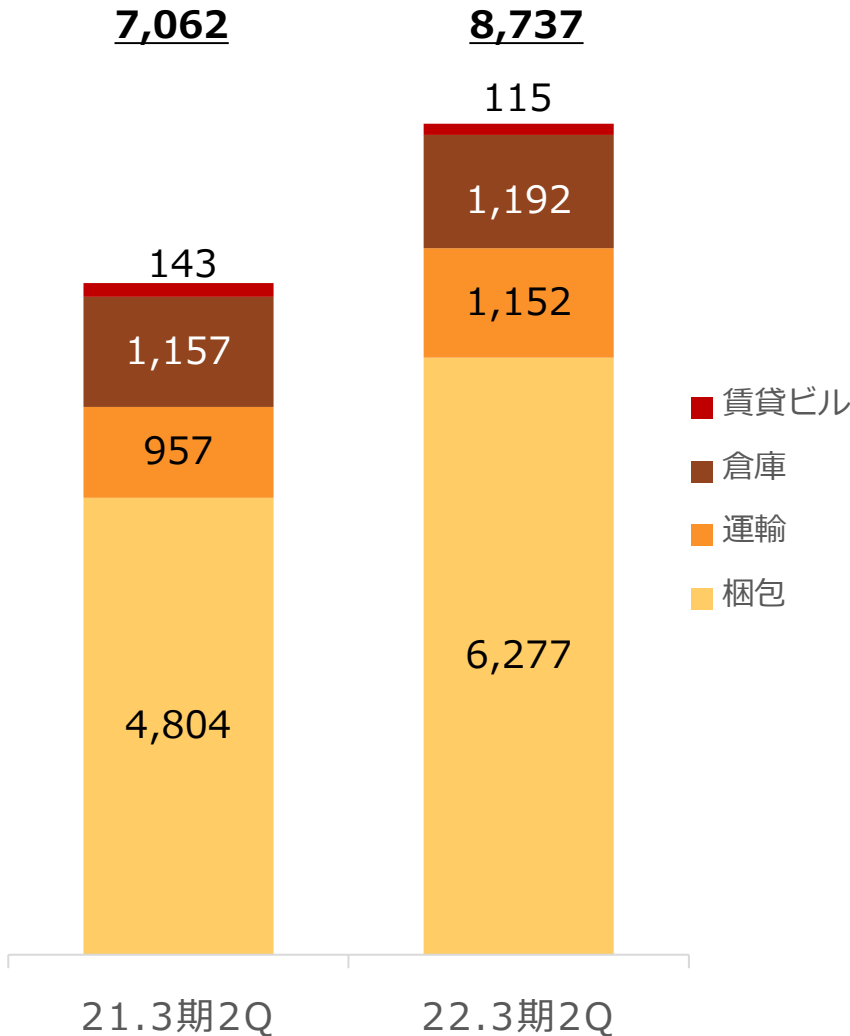
製品群別売上高の増減分析



1-3. 2022年3月期第2四半期 セグメント別 決算概要

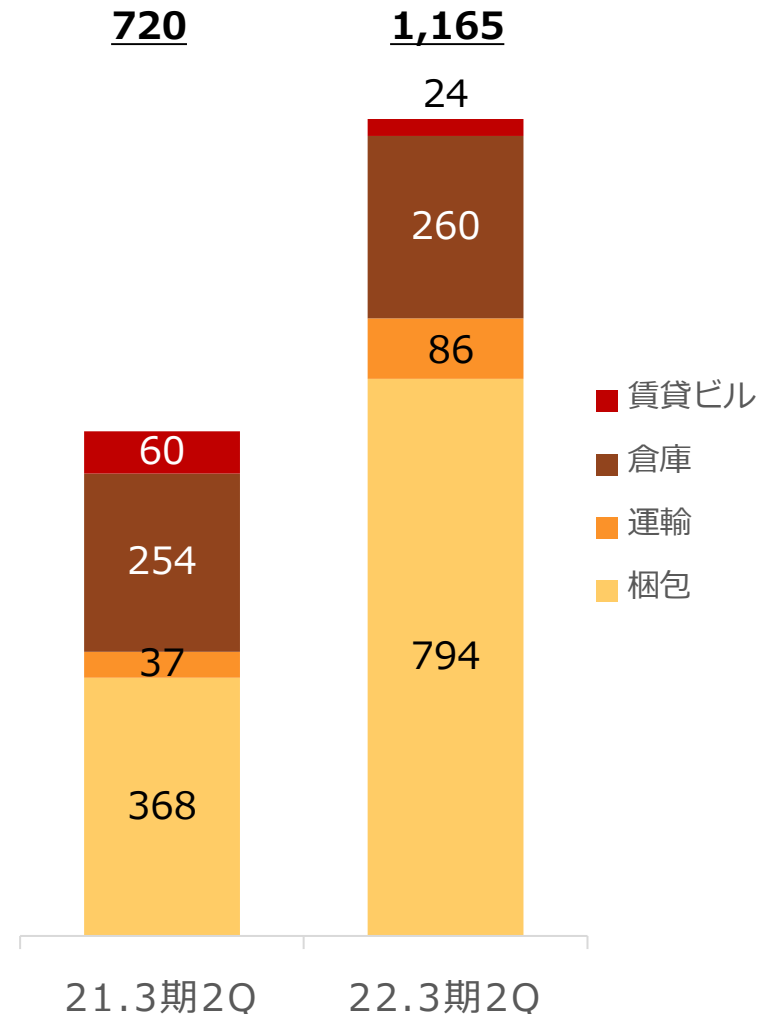
売上高

(単位：百万円)



セグメント利益

(単位：百万円)



1-4. 2022年3月期第2四半期

地域別売上高 決算概要

- ・ 米国、中国ともに2021.3期コロナの影響で取扱いが大幅減少
2022.3期においては回復傾向

(単位：百万円)

	2021.3期 2Q	2022.3期 2Q	構成比	前期比 増減額	前期比 増減率
日 本	6,710	8,138	93.1%	1,427	21.3%
中 国	6	45	0.5%	38	544.9%
米 国	345	554	6.3%	208	60.5%
合 計	7,062	8,737	100.0%	1,674	23.7%

1. 2022年3月期第2四半期決算概要 P 3
- 2. 2022年3月期 業績予想 P 8**
3. 中期経営計画の進捗状況 P13
4. Appendix P23

2-1. 2022年3月期 業績予想

当第2四半期連結累計期間までの実績を勘案し、下期も工作機械、半導体製造装置及び小型精密機器の取扱いが同程度は見込まれることから、通期連結業績予想を上方修正。

(単位：百万円)

	2021.3期	2022.3期 修正後予想	前期比 増減	前期比 増減率	2022.3期 当初予想
売上高	15,210	17,000	1,790	11.8%	16,200
営業利益 (営業利益率)	599 (3.9%)	1,100 (6.5%)	501	83.5%	1,000 (6.2%)
経常利益 (経常利益率)	519 (3.4%)	1,100 (6.5%)	581	111.7%	950 (5.9%)
親会社株主に 帰属する当期純利益 (当期純利益率)	367 (2.4%)	700 (4.1%)	333	90.4%	600 (3.7%)
ROE (自己資本利益率)	4.4%	8.0%	3.6pts	—	6.9%
1株当たり 当期純利益(円)	65.79	124.95	59.16	89.9%	107.32
1株当たり 配当(円)	20	37	—	—	32

【参考】 ◆設備投資 21.3期実績 2.7億円 22.3期予想 18.8億円
 ◆減価償却 21.3期実績 6.9億円 22.3期予想 7.4億円

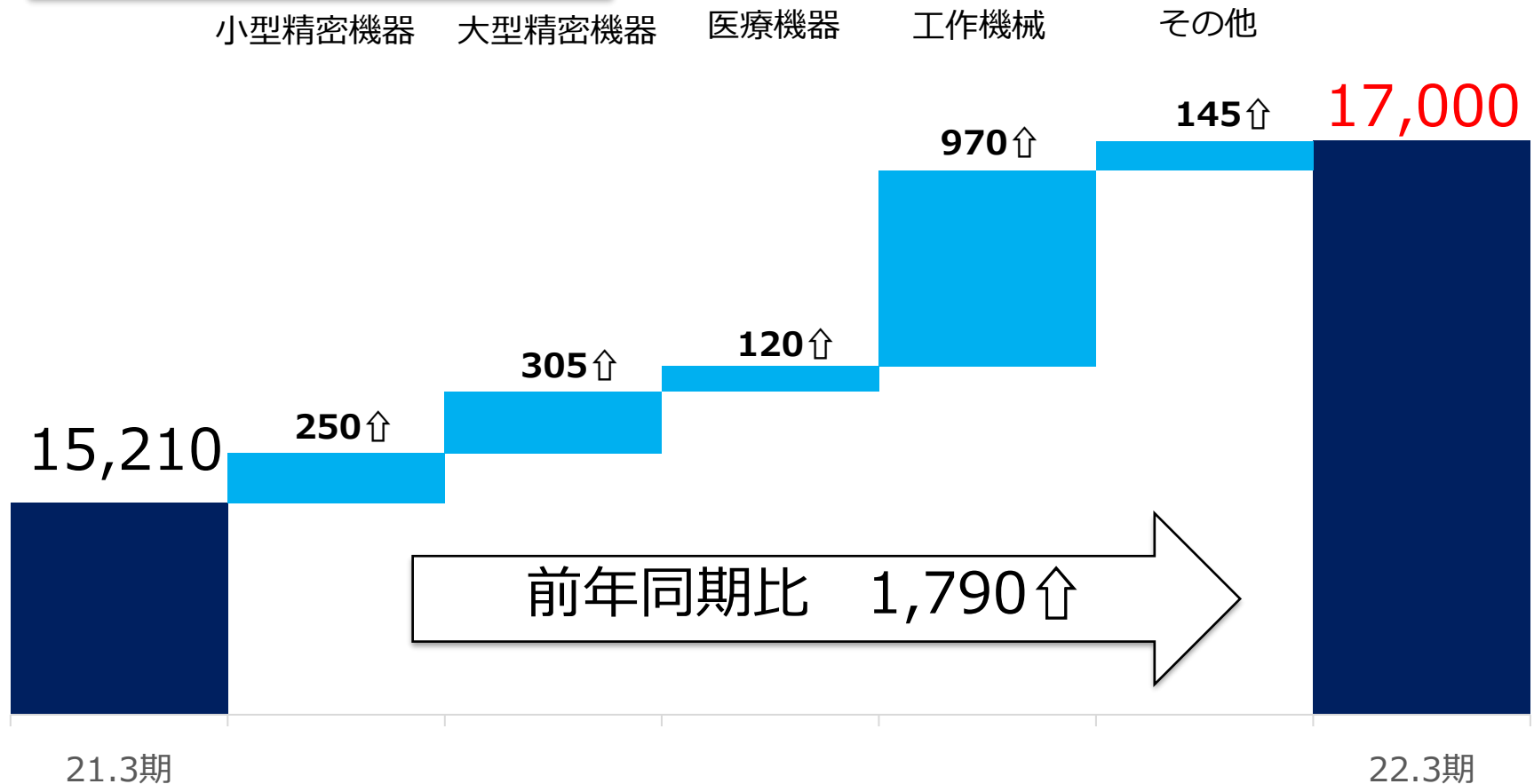
2-2-1. 2022年3月期 取扱製品群別 業績予想

- ・引き続き好調な半導体製造装置と工作機械の回復による取扱い増加に加え、下期より医療機器の新規案件による増加を見込む

※期初予想見直し後

(単位：百万円)

製品群別売上高の増減分析



21.3期

22.3期

2-2-2. 2022年3月期 地域別売上高 業績予想

日本：引き続き好調な半導体製造装置と工作機械の回復による取扱い増加を見込む

米国：コロナ禍で落ち込んだ取扱いの回復を見込む

※期初予想見直し後 (単位：百万円)

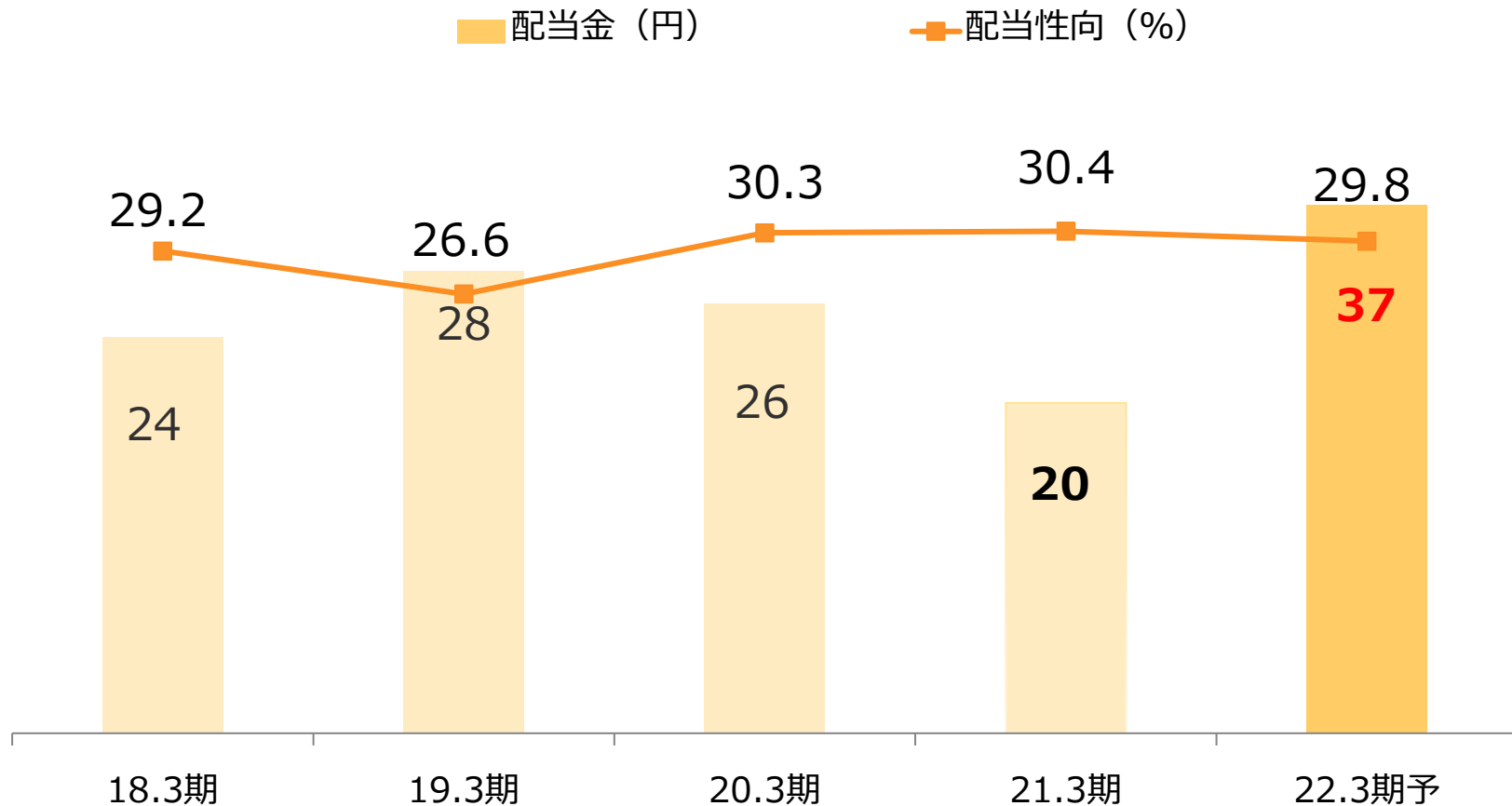
	2021.3期	2022.3期 予想	構成比	前期比 増減	前期比 増減率
日 本	14,476	15,660	92.1%	1,184	8.2%
中 国	68	120	0.7%	52	76.5%
米 国	666	1,220	7.2%	554	83.2%
合 計	15,210	17,000	100.0%	1,790	11.8%

為替レート 2021.3期 1ドル=106.82円 1人民元=15.48円
2022.3期 1ドル=106.30円 1人民元=16.70円

2-3. 配当について

2021.3期：配当性向30%を維持

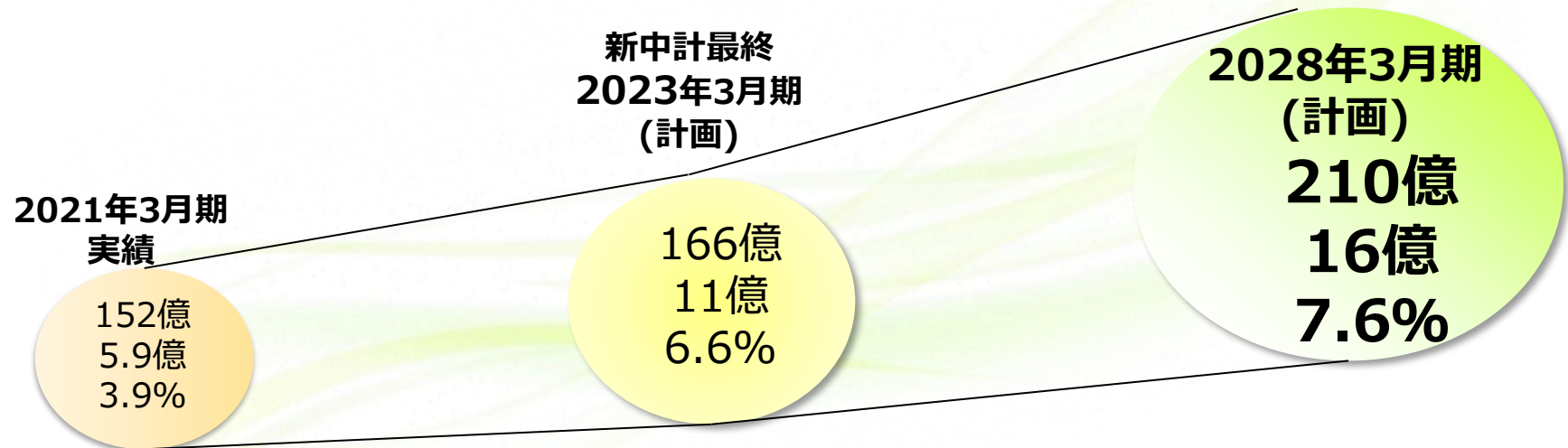
**2022.3期：業績予想の上方修正に伴い、配当予想も当初
予想の32円より修正し、37円を予定**



1. 2022年3月期第2四半期決算概要 P 3
2. 2022年3月期 業績予想 P 8
- 3. 中期経営計画の進捗状況 P13**
4. Appendix P23

3-1. 中期経営計画の策定にあたって

- 各部署とも今まで以上にソリューションの実現に向けて新しいチャレンジを行い、利益率の向上を図る。
- 80周年を迎える2028年3月期の連結営業利益率の目標値を7.6%と定め、今回の2か年計画では営業利益率6.6%を目指す。



3-2. 中期経営計画の概要

◆ビジョン(中長期的に目指す姿)

オペレーションから ソリューションへ

◆経営目標

期 間	2023年3月期 最終目標	(参考) 2021年3月期	伸び率
2021年4月 ~ 2023年3月	売 上 高 16,600百万円	15,210百万円	9.1%
	営 業 利 益 1,100百万円	599百万円	83.6%
配当方針	営業利益率 6.6%	3.9%	2.7pts
30%目途	R O E 7.3%	4.4%	2.9pts

3-3. 中期経営計画の概要

- ・ 売上目標は前倒しで達成予想
- ・ 売上高及び営業利益率は2022.3期計画値において達成の見込み

【中期経営計画】

(単位：百万円)

	【参考】2021.3期 実績	2022.3期 計画	2023.3期 計画
売上高	15,210	16,200	16,600
営業利益	599	1,000	1,100
営業利益率	3.9%	6.2%	6.6%

【実績と予想】

	【参考】 2021.3期 2Q実績	2022.3期 2Q実績	2022.3期 予想
売上高	7,062	8,737	17,000
営業利益	205	624	1,100
営業利益率	2.9%	7.1%	6.5%

3-4-1. 中期経営計画の概要及び進捗状況

【国内事業の主な進捗状況】

1. 精密機器/医療機器

- ・ 取引採算の向上

- メディカル推進TEAMを組成し、外資系医療機器メーカーの新規案件を獲得、10月より業務開始。

- ・ 顧客の生産効率向上に寄与するソリューションを提案

- 米欧向けK/D(knock-down)部品輸出案件業務開始

- ・ 既存拠点の再構築の検討をスタート(成田地区、多摩地区)

2. 工作機械

- ・ 海外子会社と連携したシームレスな国際一貫物流サービスを提供

3-4-2. 中期経営計画の概要及び進捗状況

【海外物流事業】

1. 米国西海岸に新倉庫を建設し、業容拡大を図る。
2. 顧客のグローバル製造における潜在的な物流課題の解決をサポート

【海外物流事業の主な進捗状況】

◆ 新倉庫の概要

敷地：5,548m²(1,678坪)

延床面積：2,508m²(760坪)

主要設備：オーバーヘッドクレーン30 t 2基

建設費用：7,500千米国ドル（約824百万円）

完成予想図



3-4-3. 中期経営計画の進捗状況

(1) 組織

◆ 事業戦略部(仮称)の設置

- 事業戦略部を正式に設置。部員の社内公募を行い、物流DX推進のための体制を構築中。
- AGV（無人搬送ロボット）の実証実験中。



(2) 人材

◆ 人材育成の強化

- 幹部人材育成研修実施
- 「やりがい」、「働きがい」のある職場実現のため、職場環境改善の設備投資、職場環境アンケート、従業員エンゲージメントを実施。

(3) 設備投資

◆ 設備投資 2年総額25億円

- 主な投資内容米国子会社の西海岸にて、新倉庫を建設中。
(総費用11,700千米国ドル)

3-5.TOPIX

World Star 2021

輸送部門において受賞！

『塗装乾燥時間短縮対応アルミホイール梱包箱』

- ・高級車などのタイヤホイールの修理・塗装完了後の出荷に使用される
段ボールの改善であり、以下の改善効果を実現。
- ・納品までのリードタイムを約1日短縮。
→修理工場においては、保管スペースの削減。
→代理店においては、車リフターの占有期間の短縮。



※ 「World Star 2021」…世界包装機構(WPO : World Packaging Organisation)主催のパッケージングコンテスト
本コンテストは、世界各国のコンテストにおいて選出された包装の中から、優れたデザイン・技術及び国際的な包装水準の向上に寄与する作品を選出するものです。

3-6.SDGsへの主な取組み ～障がい者自立支援～

●サンリツ パラリンアートコンテストの開催



◆概要

・障がい者自立推進機構「パラリンアート事業」の「障がい者アーティスト自らが才能を糧に変え、経済的自立を目指すことを支援する」という理念に共感し、弊社のステートメントである「地球をつつむ 思いやり」をテーマに障がい者アーティストから作品を募集しました。

◆パラリンアート×サンリツ女子卓球部

・最優秀賞受賞のRIKUさんの作品「みんななかよく」をサンリツ女子卓球部のユニフォーム、および練習用Tシャツにデザインしました。



最優秀賞
RIKUさん（愛知県）
「みんななかよく」



※ 当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づき記述したものでありますが、この記述は、将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により異なる可能性があることをご留意ください。

問い合わせ先：企画部 03-3471-0463

1. 2022年3月期第2四半期決算概要 P 3
2. 2022年3月期 業績予想 P 8
3. 中期経営計画の進捗状況 P13
- 4. Appendix P23**

【参考】2022年3月期第2四半期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部	2021.3期	2022.3期 2Q	前期比 増減	負債 純資産の部	2021.3期	2022.3期 2Q	前期比 増減
流動資産	6,398	6,330	▲68	流動負債	5,439	5,340	▲99
有形固定資産	11,458	11,731	+273	固定負債	5,669	5,496	▲173
無形固定資産	28	73	+44	負債合計	11,108	10,836	▲272
投資その他の資産	1,854	1,829	▲24	純資産合計	8,630	9,127	+496
固定資産合計	13,340	13,633	+292				
資産合計	19,739	19,963	+224	負債・純資産 合計	19,739	19,963	+224

【参考】2022年3月期第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

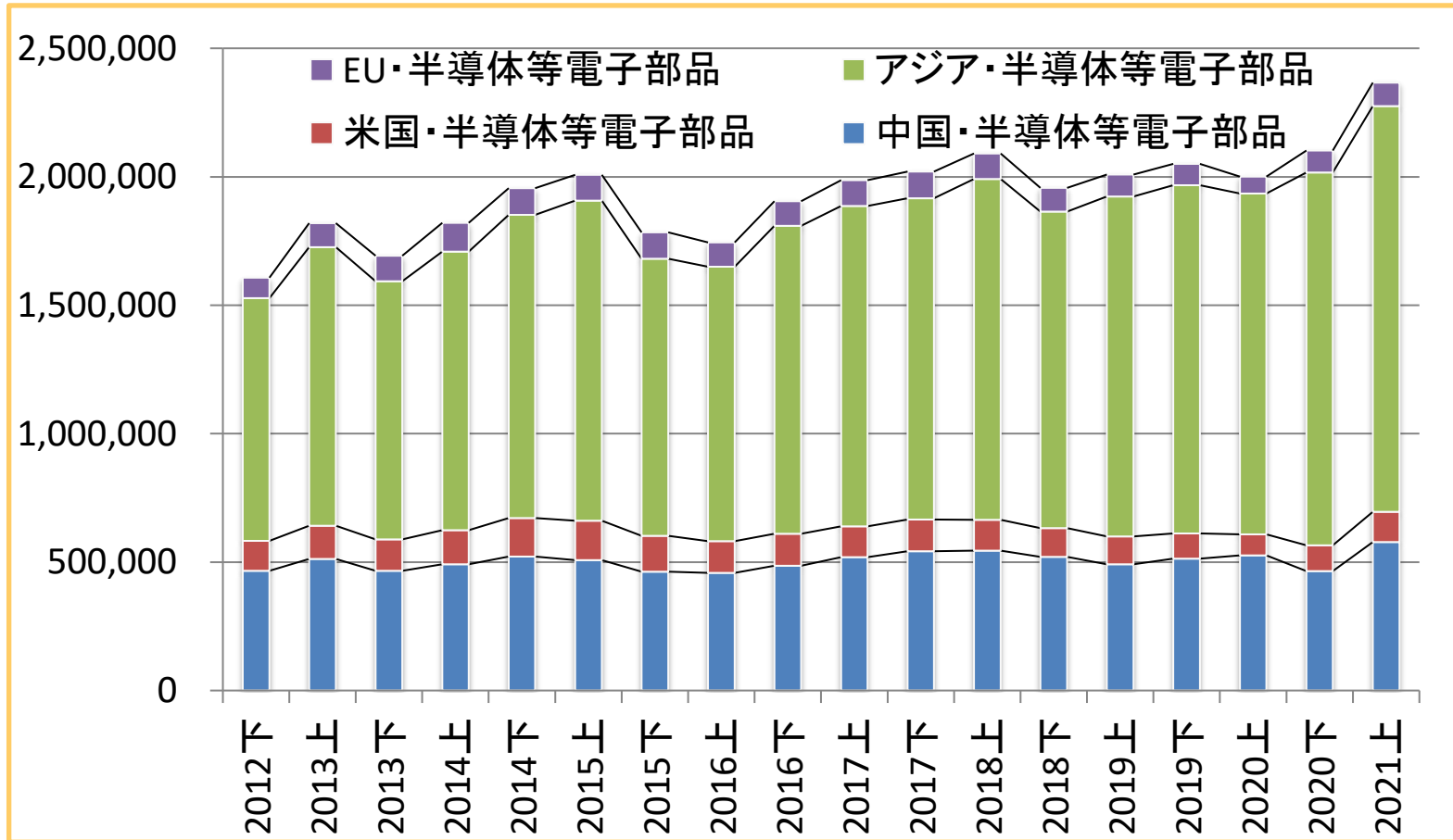
	2021.3期 2Q	2022.3期 2Q	主な要因
期首残高	1,736	2,861	
期中増減額	+2,085	▲227	
営業活動によるキャッシュフロー	+687	+474	税金等調整前四半期純利益： +686百万円 減価償却費：+362百万円
投資活動によるキャッシュフロー	▲117	▲641	有形固定資産の取得による支出： ▲610百万円
財務活動によるキャッシュフロー	+1,523	▲75	配当金の支払額：▲111百万円
換算差額	▲7	15	
期末残高	3,822	2,634	

【参考】外部環境(～2021年度上期)

品目別輸出金額 年別推移 (半導体等電子部品)

※半導体等電子部品…熱電子管、個別半導体、ICなど

(単位：百万円)



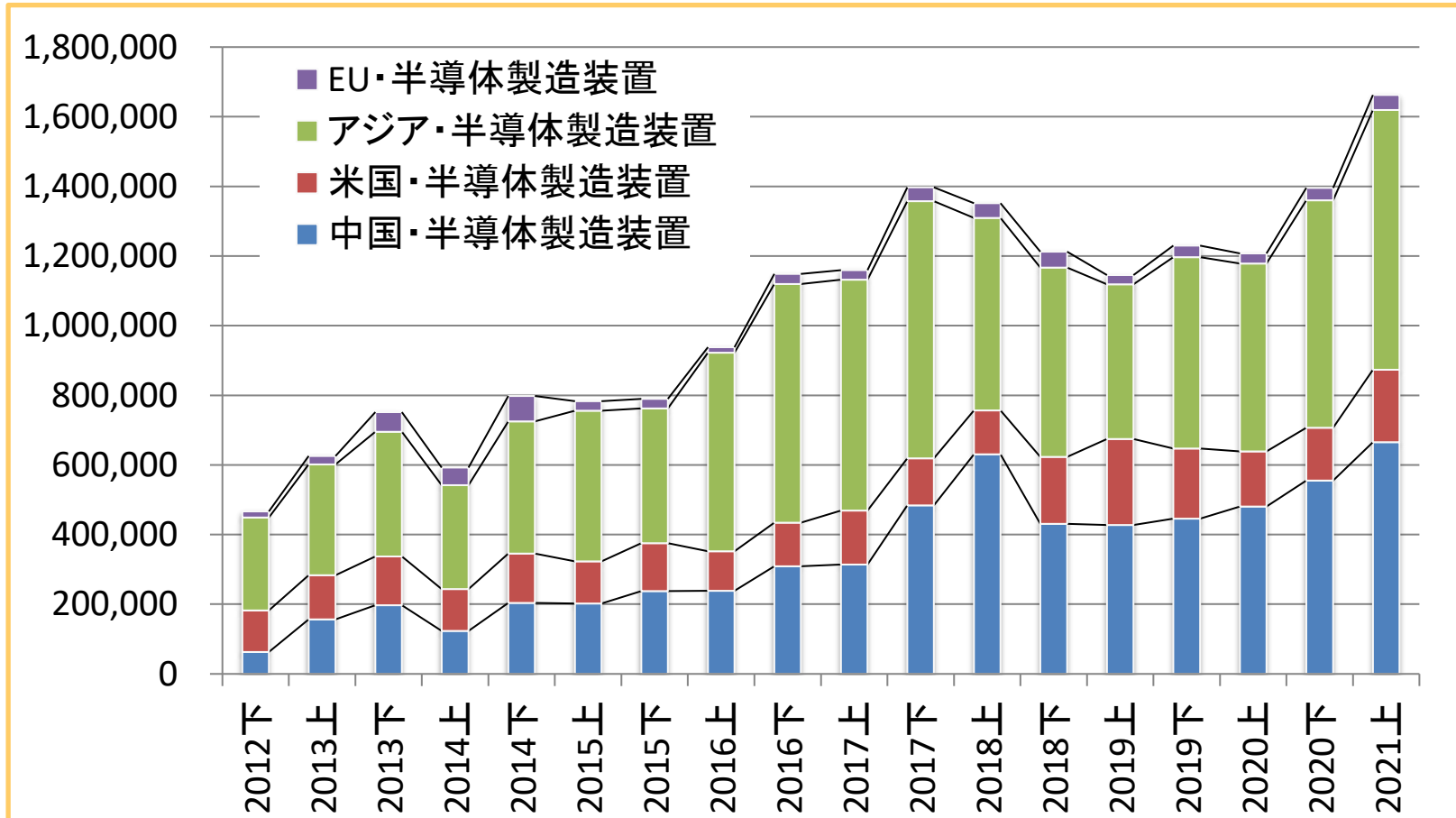
- ・ 2021年上期では、一部の国での経済回復を背景に半導体の需要が増加。

【参考】外部環境(～2021年度上期)

品目別輸出金額 年別推移 (半導体製造装置)

※半導体等製造装置…半導体ボール又は半導体ウエハー製造用の機器
半導体デバイス又は集積回路製造用の機器

(単位：百万円)

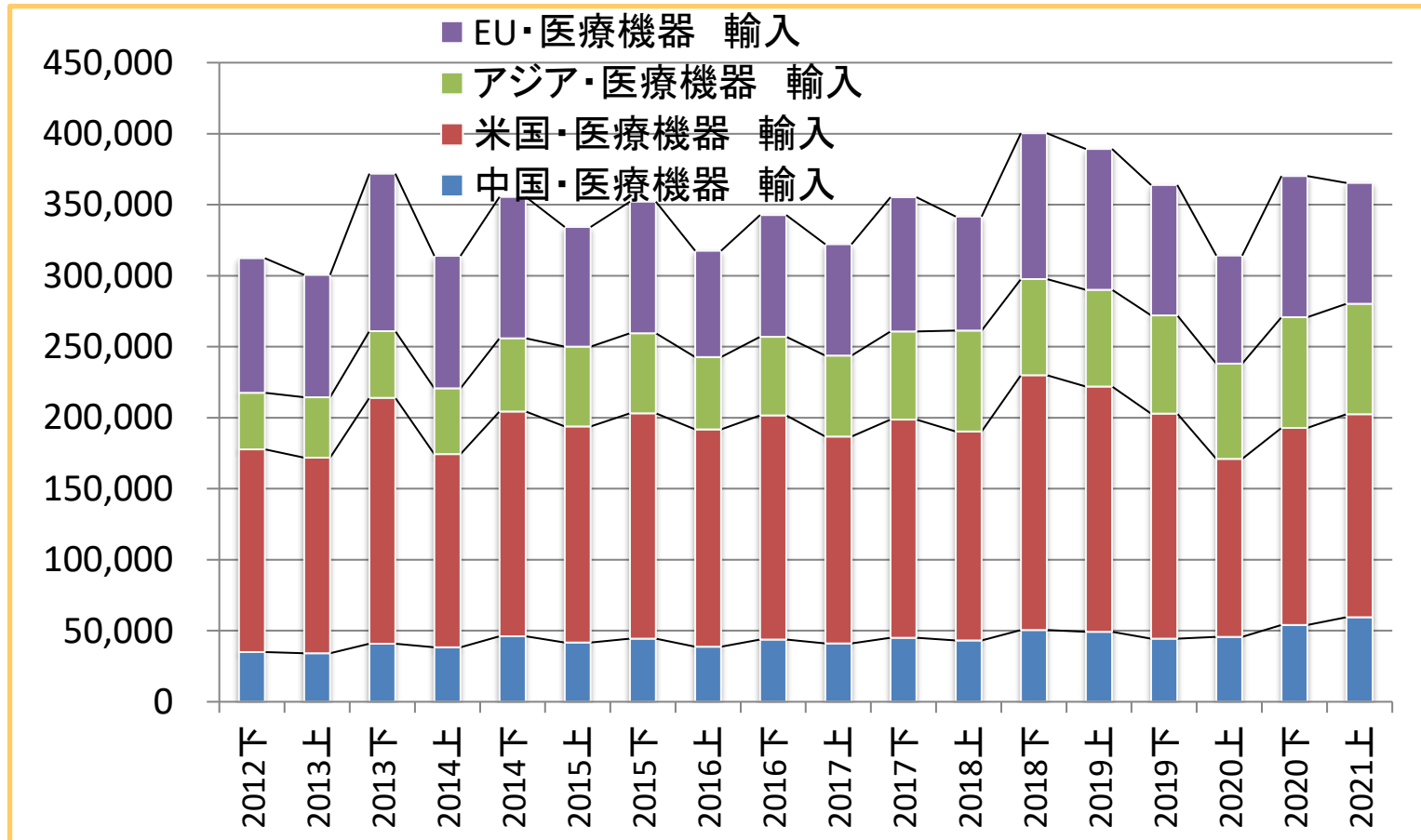


- ・世界的な半導体需要の増加を背景に、2021上期において大幅に増加した。

【参考】外部環境(～2021年度上期)

品目別輸入金額 年別推移 (医療機器)

※医療機器…医療用または獣医用機器、診断用電気機器、エックス線などを使用する機器など
(単位：百万円)

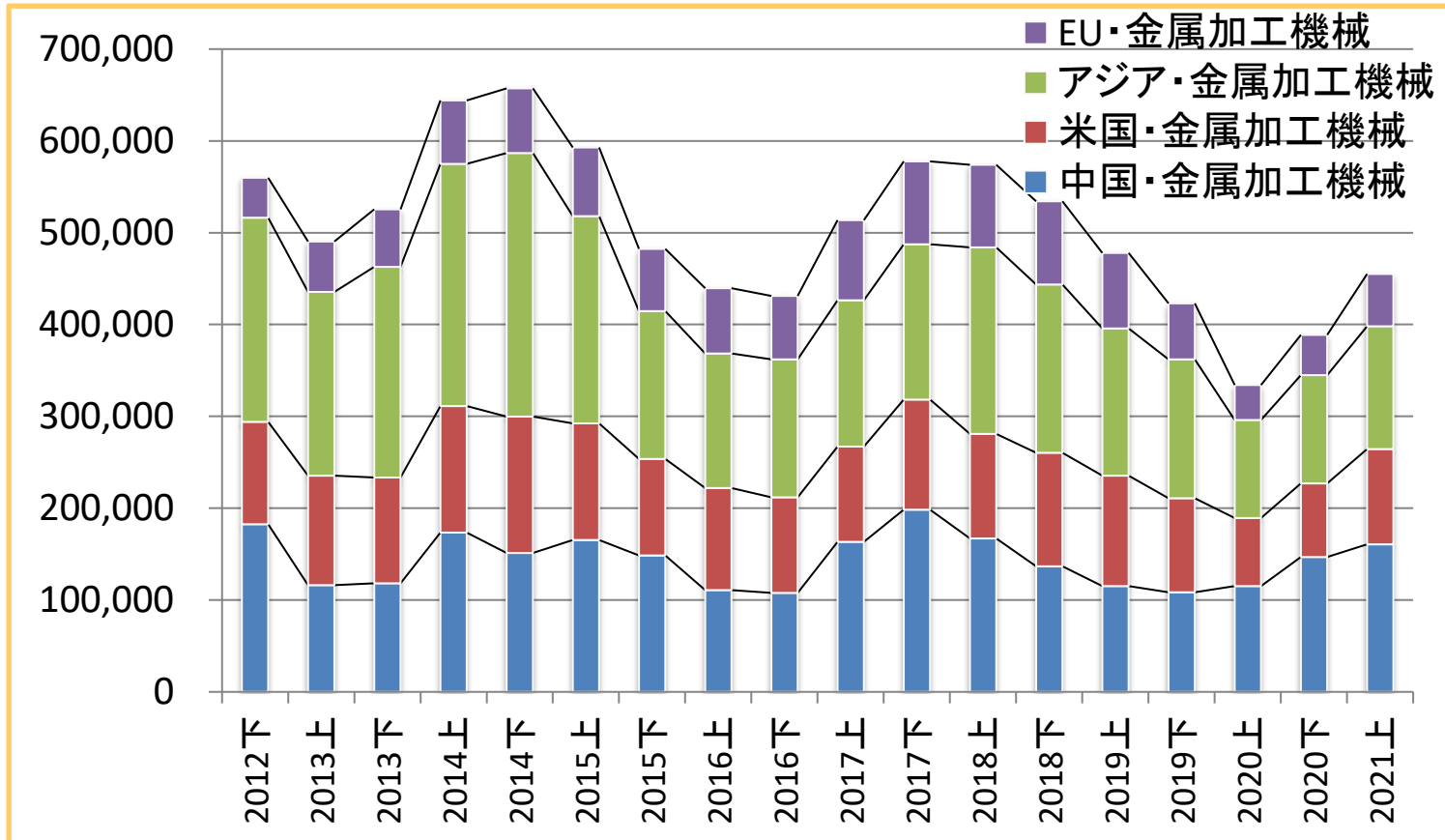


- ・2020年上期に大幅に減少したが、2020下期には持ち直しており、コロナ禍以前の水準を維持している。

【参考】外部環境(～2021年度上期)

品目別輸出金額 年別推移 (金属加工機械)

※金属加工機械…旋盤、研削盤、金属加工用のマシニングセンターなどその他の加工機械
(単位：百万円)



- 金属加工機械はシクリカルな業界動向の中で、2017年下期をピークにダウントレンドに入っているものの、2020年上期には底を打ち、アップトレンドへ転換している。